

無料!

地方公共団体  
限定



# eラーニングによる 情報セキュリティ研修

平成27年度:6月2日(火)より申込受付中!



地方公共団体

## eラーニングサイト

申込  
研修  
受講

学習履歴  
の確認

電話または  
メールによる  
お問い合わせ

- 複数コースの受講も可能です。  
受講コースは9コースあり、ご自身のレベルアップに合わせてステップアップできます。
- 受講期間内であればいつでも学習できます。  
無理のない学習計画が立てられます。

### 研修受講対象者

地方公共団体職員の方を対象に、180,000人程度を予定しています。

### 目的

本研修は、住民に信頼される電子自治体の実現や地域情報化の推進に必要な情報セキュリティ対策を支える人材を育成するため、組織におけるセキュリティ意識、個人情報保護意識の底上げを図ることを目的に実施するものです。

### ヘルプデスク



### ●申込受付期間および学習期間

12月28日(月)  
23:59まで  
最終学習

期 間	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
申込受付期間	6月2日(火) 10:00~9月29日(火) 17:00						
コース名	情報セキュリティ一般コース	個人情報保護一般コース	学習期間 7月1日(水)~12月28日(月)				
	情報セキュリティ実践コース	個人情報保護実践コース					
	情報セキュリティ管理コース	ソフトウェア資産管理コース	学習期間 7月14日(火)~12月28日(月)				
	情報発信とモラルコース	学習期間 7月29日(水)~12月28日(月)					
	地方公共団体専門コース	自治体クラウド導入コース	学習期間 8月12日(水)~12月28日(月)				

## ● 研修コース

### 情報セキュリティ一般コース

日常業務において機密情報や個人情報などの重要性を意識しながら安全に取り扱うための方法について学習します。情報の持ち出し/持ち込み、電子メールやパソコンの利用、個人情報の取り扱い、情報モラル・マナー、紛失盗難・誤送信時の対応など、職場での代表的な場面ごとに原因と対策を確認します。

※本コースは1章構成のため、お気軽に受講できます。

### 個人情報保護一般コース

個人情報を正しく活用し、かつトラブルを未然に防ぐには、個人情報を取り扱う職員一人ひとりが正しい認識と漏えい対策を身につける必要があります。そのため、本コースでは職員全員が知っておくべき個人情報に関する知識と、職場で行う具体的な対策について学習します。

第1章 今なぜ!個人情報漏えい対策が求められているのか

第2章 職場で役立つ!個人情報漏えい対策

### 情報セキュリティ実践コース

組織や団体の情報セキュリティを有効に機能させるためには、情報資産を取り扱う職場環境の脅威やリスクを認識し、それに対応する対策を確実に行うことが必要です。本研修では、職場環境におけるさまざまな脅威に対する対策を技術的、人的、物理的の観点で学習します。

第1章 情報セキュリティの基本的な考え方

第2章 職場環境における主な情報セキュリティ対策

### 個人情報保護実践コース

個人情報漏えい事件・事故が深刻な社会問題となっています。このため、信頼される個人情報保護の実現が社会的責任として、職員一人ひとりに求められています。このため個人情報保護の重要性と、職場での効果的な対策について学習します。

第1章 個人情報保護の重要性と求められる対応

第2章 個人情報を適切に取り扱うための対策方法

### 情報発信とモラルコース

ソーシャルメディアは情報収集や友人知人とのコミュニケーションのための重要な手段になっている一方、不適切な使用によりトラブルを発生させる危険性があります。本研修では、ソーシャルメディアを利用する職員が全員知っておくべき基礎知識と利用のための具体的なノウハウについて学習します。

第1章 ソーシャルメディアのリスク対策

第2章 ソーシャルメディアのリスク対策のポイント



### 地方公共団体専門コース

地方公共団体の職員として必要な情報セキュリティに関する事項を学習します。

第1章 政府、地方公共団体の情報セキュリティへの取組み

第2章 総合行政ネットワーク(LGWAN)

第3章 住民基本台帳ネットワークシステムと住民基本台帳カード

第4章 公的個人認証サービス

第5章 地方税ポータルシステム(eLTAX)

第6章 地方公共団体のICT部門における業務継続計画(BCP)

### 情報セキュリティ管理コース

このコースは、情報セキュリティマネジメントシステムを安全かつ適切に運用・管理するため、情報セキュリティのマネジメントや情報資産の管理及びリスクへの対応並びに具体的な情報セキュリティ対策について習得するものです。

第1章 情報セキュリティとISMSの概要

第2章 ISMS構築と運用

### ソフトウェア資産管理コース

ソフトウェアの適正な資産管理の必要性について理解し、ソフトウェア資産管理体制を整備する上での基本事項を学習します。

序章 なぜIT資産管理が必要なのでしょう?

第1章 なぜIT資産管理プログラムか?

第2章 IT資産管理における個人の役割と責任

第3章 IT資産管理プログラムの運用が正しく行われないと?

第4章 組織横断的な協力が必要なIT資産ライフサイクル管理プロセス

第5章 ソフトウェア資産とは?

### 自治体クラウド導入コース

自治体クラウド導入を担当者や支援するため、自治体クラウド推進の必要性や有効性を理解するとともに、自治体クラウドにおけるサービス利用のしくみや導入に向けた課題などについて学習します。

第1章 自治体クラウドの概要

第2章 自治体クラウドの必要性、有効性

第3章 自治体クラウド導入プロセス

第4章 地方公共団体の取組事例



※各コースの学習時間は2時間から5時間程度です。

※各コースには最後に修了テスト、修了アンケートがあります。

※各コースは「章」及び「節」に分けられています。業務などで受講を中断した場合、中断した箇所から再開できます。



地方公共団体情報システム機構

Japan Agency for Local Authority Information Systems

ヘルプデスク

TEL:0120-969816 (IP電話からはご利用できません)

e-mail: flm-H27SEC-JLIS@cs.jp.fujitsu.com

教育研修部

TEL:03-5214-8006

e-mail: elfaq@j-lis.go.jp